

2013 年度 言語教育学(講義)
言語社会心理学 I : 木曜日 3 限 (322)

担当教員 : 宇佐美まゆみ

E-mail : usamima@tufs.ac.jp

研究室 : 740 室

授業の目標

これまでのポライトネスにかかわる諸研究、諸理論の批判的検討を行うとともに、従来のポライトネス理論の問題点を克服する形で展開してきたディスコース・ポライトネス理論についての理解を深める。また、これらの研究と学生各自の研究がいかに関連するかについての考えを深める。

授業の概要

ポライトネス研究、ディスコース・ポライトネス理論についての講義と学生の発表・討議、バランスを取りながら進めていく。

成績の評価

出席 6 割以上、期末レポート (40%~50%)、普段の授業への貢献度(積極的発言)、毎回のレポート、発表、小課題などによって、総合的に評価する。

受講上の注意

受講人数にもよるが、グループワークなどを多く取り入れる参加型授業としたいので、毎回のレポート等が多くなることを、理解しておくこと。

提出物について

(1) 毎回授業についての感想を A4 一枚にまとめてください。

※メールと紙の両方の提出をお願いします。

※感想文(メール)送信先 : 2013moku3@tufs.ac.jp

件名 : 木 3 学部講義(名前)日付

【例】2013 年 4 月 18 日の授業の感想文の場合

メールの件名 : 木 3 学部講義(陳婉)130418

★数字と括弧はすべて半角に統一する

★日付は授業日を書く(130418→130425→130509 の順に)

※感想文(紙)提出先 : 707 室前のボックス

※締切り : 授業の次の週の水曜日 12 : 00 まで (時間厳守)

(2) 中間、期末レポート : usamiken1@gmail.com (詳細は後ほど)

2013 年度 言語教育学(講義)
言語社会心理学 I : 木曜日 3 限 (322)

担当教員 : 宇佐美まゆみ (usamima@tufts.ac.jp)

研究室 : 740 室

TA : 陳婉 (c200820556@gmail.com)

日付	授業の計画 (2013 年度)
1(4/11)	言語イデオロギーと言語使用、敬語とポライトネス導入
2(4/18)	ポライトネス研究の流れ(1) PPT1
3(4/25)	ポライトネス研究の流れ(2) PPT2
4(5/9)	ポライトネス研究の流れ(3) PPT3
5(5/16)	ブラウンとレビンソンのポライトネス理論(1) 連載 1・2
6(5/23)	ブラウンとレビンソンのポライトネス理論(2) 連載 3・4 配布資料 : B&L ストラテジーリスト(例付)
7(5/30)	ブラウンとレビンソンのポライトネス理論(3) 連載 5・6
8(6/6)	ディスコース・ポライトネス理論(1) PPT4
9(6/13)	ビデオ『視点・論点』NHK 教育テレビ 「敬語の社会心理学」 & 「女子高校生の男言葉」 課題 : ストラテジーの具体例を挙げる
10(6/20)	6/13 の課題についてフィードバック
11(6/27)	ディスコース・ポライトネス理論(2) 連載 7・8
12(7/4)	ディスコース・ポライトネス理論(3) 連載 9・10
13(7/11)	ディスコース・ポライトネス理論(4) 連載 11
14(7/18)	ディスコース・ポライトネス理論(5) 連載 12
15(7/25)	ディスコース・ポライトネス理論の応用 (言語教育、医療コミュニケーション) 今学期のまとめ